



高原でポリフェノールを満喫

(9月24日 松原町神原・松岡)

備中高梁体験学習観光 ぶどう・紅茶でポリフェノール三昧!」が開催され、岡山市などの25人が市内の農業を学習しました。

参加者らは、茶栽培農家で茶葉の収穫を行い、紅茶製造工場に移動。紅茶の製造工程を見学しました。世界のぶどう園も訪れ、珍しいぶどうを堪能しました。

この学習観光は、今後、吹屋などで6回開催する予定です。



神戸の中学生がファームステイ

(9月25~27日 宇治町、成羽町中・中野)

神戸市立渚中学校の2年生98人が、2泊3日の行程で農業体験に訪れました。

生徒たちは、宇治町、成羽町中・中野地区の33戸の農家宅へホームステイ。

成羽町中地区では、土谷稔さん(76)らの指導を受けながら、ピオーネの収穫、芋掘り、稲刈りに挑戦。都会では経験できない体験をしました。

秋の夜を堪能

(9月25日 うかん常山公園)

「第15回風ぐるま月見茶会」(有漢町観光協会主催)が開かれ、琴や尺八などの演奏があり、お茶席も設けられました。

訪れた人たちは、月明かりの中、琴などが奏でる幻想的な調べや、お茶の雰囲気を楽しんでいました。また、公園の芝生一帯には、竹で作った手作りの灯籠が並べられ、会場の雰囲気を一層引き立てていました。



交通安全を願って

(9月18日 市内大型店舗)

9月21日(月)からの「秋の交通安全県民運動」を前に、「交通安全フェスタ」(市交通安全対策協議会主催)が開かれました。

地元ヒーロー・ピッチュマンが交通安全にちなんだ劇を披露。広場に集まった家族連れらは大きな声援を送っていました。また、店舗駐車場ではパトカー・白バイの展示もあり、日ごろなかなかできない体験を楽しみました。



ピオーネ生産を目指して

(9月21日 松山)

市主催、ピオーネスクール(今年度8回目)が開かれ、新規栽培希望者ら26人が熱心に講習に耳を傾けました。

松山のピオーネ栽培農家で、びほく農協、高梁農業普及指導センター職員の指導のもと、収穫作業を研修。その後、備中県民局高梁地域事務所で、箱詰めなど出荷の方法の講習を受けました。

このスクールは平成10年度にスタートしたもので、今回で12回目。



B級グルメを考案

(9月28日 福祉センター)

「備中高梁B級グルメコンテスト」(備中高梁ブランド推進協議会・高梁商工会議所主催)の最終審査が行われ、最優秀賞に備中町平川、江草邦子さん(42)の「こんにゃくたこ焼き」が選ばれました。

コンテストは、新たな食を開発しようと7月から公募していたもので、58点の応募がありました。

長寿おめでとうございます

9月に100歳を迎えられた皆さん

老人の日に合わせて、市内の男女最高齢者を訪ね、長寿を祝いました。

また、9月12日から27日の間に100歳(明治43年生まれ)の誕生日を迎えられた4人を、市職員らが訪問し記念品や花束を贈って長寿を祝いました。

市内で100歳以上の人は10月7日現在で33人(男性8人、女性25人)。



清水 順一さん
(巨瀬町)



中井 登喜子さん
(松山)



市内最高齢者
杉井 信男さん(備中町布賀・103歳)

※市内女性最高齢者は
赤迫 花子さん(成羽町成羽・103歳)



森上 いわのさん
(正宗町)



伊藤 茂子さん
(成羽町下原)